

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 埼玉環境カウンセラー協会

27A-28

代表者：代表理事 中村 章

URL : <http://www.saieca.com/>

1. 活動が必要とされた状況

当協会は、「市民、事業者及び行政機関のパートナーシップの形成に努め、環境保全活動を推進する。」ことを目的とすると定款に定めており、例年、社会教育の推進、環境の保全などに向けた非営利活動を行っている。このところ、環境活動を実施していく中、環境問題に関する、国民の関心度が低下しているように伺える。以前から回復の手だてを考え対応しているところであるが、このテーマに取り組まれているプロジェクトがあり、共催することとした。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

〈実施時期〉令和6年10月19日(土)

〈参加人数〉一般19名、学生30名ほど

〈活動内容〉

気候変動や生物多様性の喪失など各種の環境問題が深刻化する一方、こうした問題に対する足元からの活動を支えてきた市民団体の活動は、メンバーの高齢化やイベント等への若い世代の参加不足などの課題を抱えている。そこで、高校生などの若者と共に、今後の市民団体活動や若者の活動参画の進め方などについて考える。

・ 基調講演

『10年後生き残るために環境市民団体は何をすべきか』

芝浦工業大学名誉教授中口毅博氏

- ・ ブース展示解説 5ブースについて各団体より、1団体より画像により解説
- ・ ワークショップ 会場：さいたま宇宙劇場 第1ギャラリー室・研修室

3. 活動の成果

「パートナーシップ」の成長は、講習会後の、他の活動での協力にまで及び、進化した。これからの活動での協調も働きかけたい。今後の協会の活動に、新風を吹き込んだ。

4. 今後に残された課題

この講習会を通して得られたものは、社会への環境意識啓発・講習までに留まらず、協働、若者とのコンタクトなど行動で繋がるのが大切だと改めて認識した。具体的に計画に織り込み、活動していきたい。

